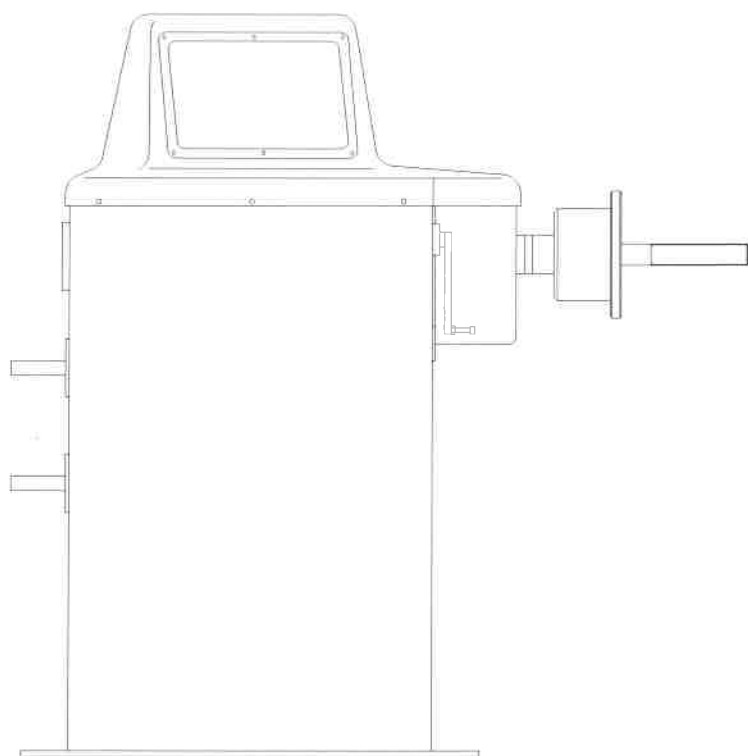


取 扱 説 明 書

COMPUTER WHEEL BALANCER

DYNAMAX B20 型



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。



警 告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1) 警告ラベル貼付位置・内容	3
(2) 危険・注意事項	5
(3) 一般的な注意事項	6
(4) 設置上の注意	6
4. 各部の名称	7
(1) 本体部の名称	7
(2) 操作部の名称	8
5. 操作手順	9
(1) ホイールの装着手順	9
(2) 測定モードの切り替え	10
(3) データのinch・cmについて	10
(4) データの入力方法	11
(5) 測定	13
(6) 再演算機能	14
(7) 表示の切り替え	14
(8) ロック解除の方法	14
(9) FINEモード	14
6. 標準付属品・オプション部品	15
7. 定期点検	16
(1) 定期点検	16
(2) 消耗品	16
8. 故障と処置	16
9. 仕様	18
10. 製品保証規定	19
(1) 保証規定	19
(2) 保証請求方法	19
(3) アフターサービスについて	20
(4) 設置(据付)及び移設について	20

1. まえがき

この度は弊社の **ホイール balanser** をお買上頂き、誠にありがとうございます。
本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機的能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので、充分ご理解のうえ正しくご使用ください。

尚、取扱説明書・注意ステッカー等は大切にご使用して頂き、万一紛失・汚損された場合は、速やかに購入の上、正しく保管・貼付してください。

2. 使用目的

このホイール balanser は普通乗用車のホイールバランスを測定、修正することの出来るホイール balanser です。

尚、オプション部品を取り付けることによって、ライトトラックのホイールバランスの測定、修正が可能です。

3. 危険・警告・注意事項



警 告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事柄が記載されていますので、必ず理解してからご使用してください。



危 険

……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告

……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注 意

……取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1)警告ラベルの貼付位置・内容

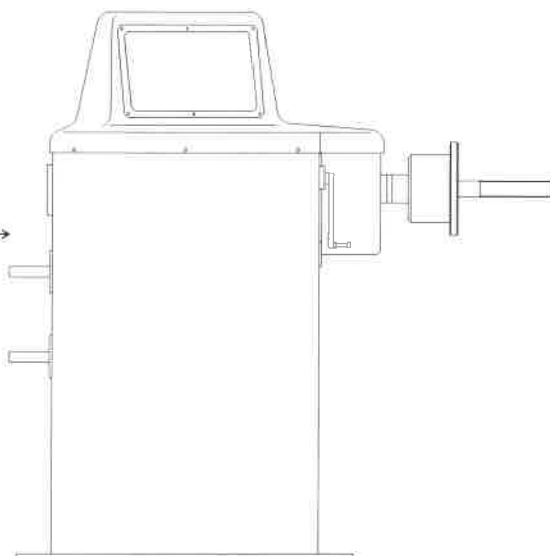


注 意

警告ラベルは大切に使用してください。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼付してください。

警告ラベル貼付位置

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	 回転中はホイールガードを開けないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪傷をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けすること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪傷をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性が あります。	ここに示す警告事項は、ホイールバランスの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し取り外さないで下さい。	



警告ラベル内容

※下記警告ラベルが本体に貼付されています

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	 回転中はホイールガードを開けないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性が あります。	ここに示す警告事項は、ホイールバルancerの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し 取り外さないで下さい。	

(2)危険・注意事項



注 意

- (1)操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行ってください。
- (2)回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ホイールガードを開けずにストップスイッチを押し、直ちに停止させてください。
- (3)センター軸が緩んでくるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認してください。
- (4)ウエイトはしっかりと指定場所に取り付けてください。
- (5)タイヤについているゴミ、小石等は全て取り除いてください。
- (6)スタートスイッチを押す前に、必ずホイールガードをセットしてください。
- (7)落雷時には電源を必ず切ってください。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (8)本機を清掃する場合は、水洗いを絶対にしないでください。
- (9)本機を移動する場合は、主軸を持って移動したり主軸に衝撃を与えないでください。



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切ってください。元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には端子等、通電部品に絶対触れないようにしてください。
※死亡又は重傷の可能性があります。



(3)一般的な注意事項

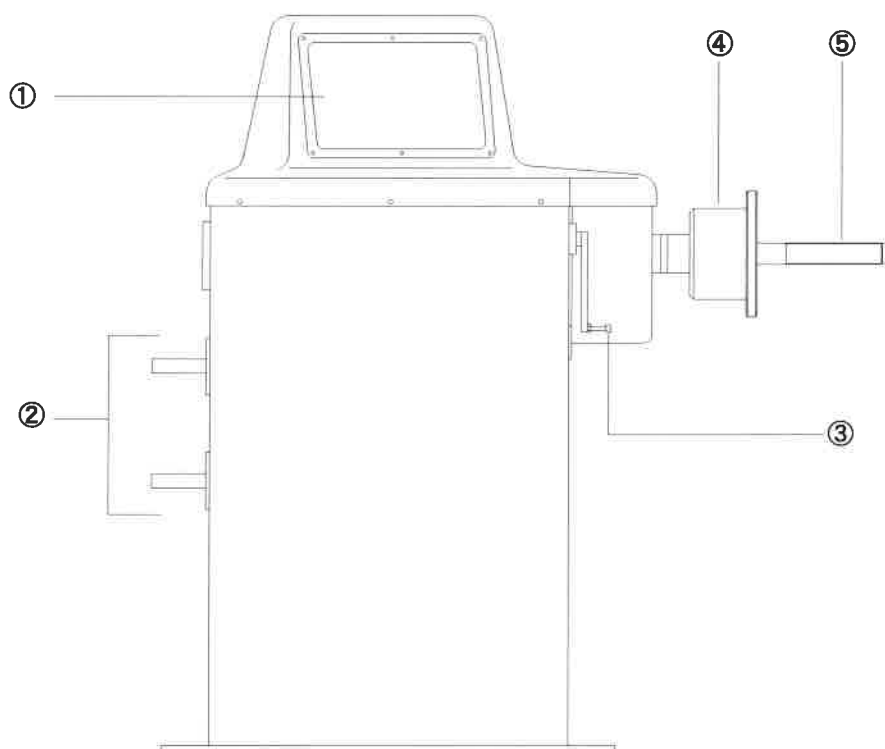
- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用してください。
- ②このホイールバランサーは使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④運転時に異常な状態の時は、ホイールバランサーの使用を禁止して電源を切り、お買い上げの販売店に連絡してください。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので、屋外設置や水による洗浄は避けてください。
- ⑥このホイールバランサーはタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないでください。

(4)設置上の注意

- ①本機の据付は平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルト4本でしっかりと固定して使用して下さい。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり、正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けてください。
 - ・ 雨水のかかる場所
 - ・ 水をよく使い湿気の多い場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 特にほこりの多い場所
 - ・ 振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸を持って移動したり、主軸に衝撃を与えないでください。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施してください。
尚、ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないでください。
- ⑤3相200Vの配線工事は必ず動力工事事務所にご依頼ください。
電源は本機の近くに必ず1.5kW以上の専用ブレーカを設置してそこから配線してください。
又、本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にしてください。

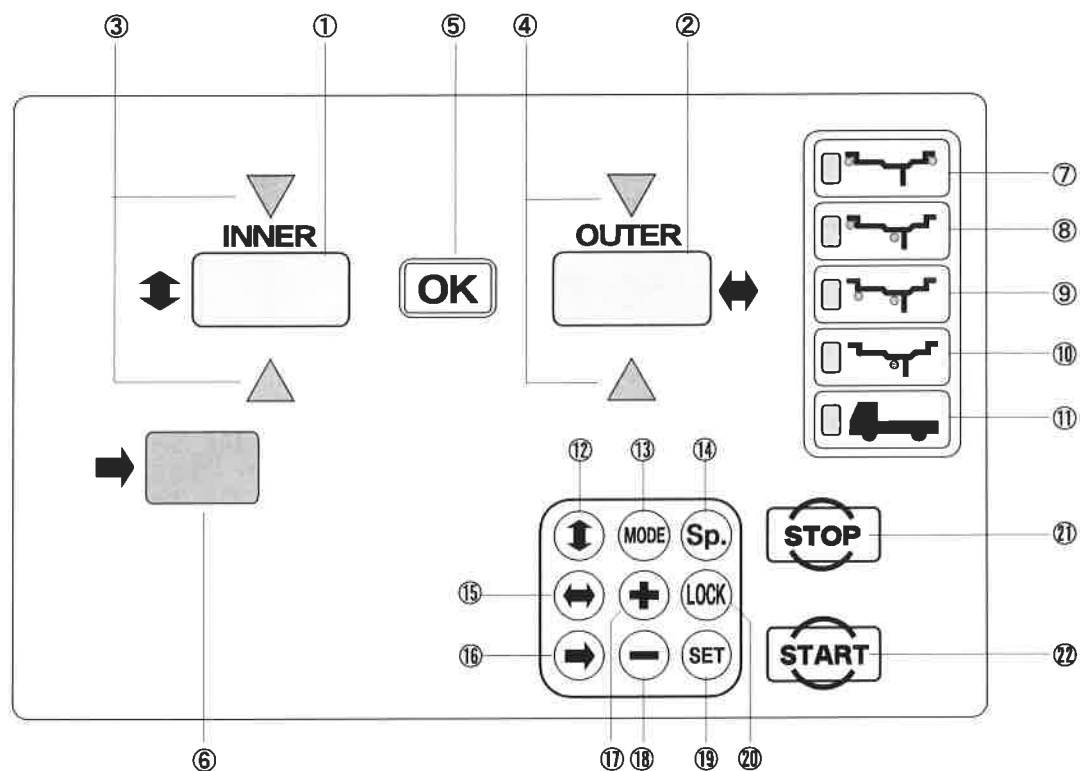
4. 各部の名称と機能

(1) 各部の名称



- ①操作パネル
- ②パーツハンガー
- ③ディスタンススケール
- ④主軸
- ⑤センター軸

(2) 操作部の名称



- ① イン側グラム表示・リム径表示
- ② アウト側グラム表示・リム幅表示
- ③ イン側ポジション表示
- ④ アウト側ポジション表示
- ⑤ OK表示
- ⑥ ディスタンス表示
- ⑦ 両面打込モード
- ⑧ イン側打込アウト側貼付モード
- ⑨ イン側貼付アウト側貼付モード
- ⑩ スタチックモード
- ⑪ ライトトラックモード

- ⑫ リム径入力スイッチ
- ⑬ 測定モード切り替えスイッチ
- ⑭ Sp スイッチ
- ⑮ リム幅入力スイッチ
- ⑯ ディスタンススイッチ
- ⑰ アップスイッチ
- ⑱ ダウンスイッチ
- ⑲ セットスイッチ
- ⑳ ロックスイッチ
- ㉑ ストップスイッチ
- ㉒ スタートスイッチ

5. 操作手順

(1) ホイールの装着手順



注 意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウエイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いてください。
ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けてください。

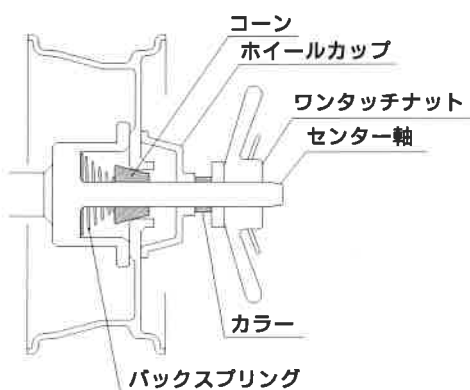
(A) バックコーンとして使用する場合

図①のようにセンター軸にバックスプリングとホイールのハブ穴に合ったコーンを入れホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーをはめ、ワンタッチナットで締めつけます。この時コーンが奥まで入り込むような場合はバックコーンとスプリングの間に、一番短いカラーを入れて使用してください。（バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします）

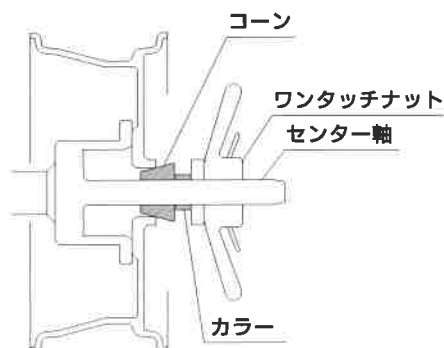
(B) フロントコーンとして使用する場合

図②のようにハブ穴に適したコーンと、カラーを用いてワンタッチナットでホイールを締めつけます。

【①バックコーンの場合】



【②フロントコーンの場合】



注 意

ワンタッチナットを緩めてホイールを外すときは必ず最初に少しワンタッチナットを緩めてからレバーを握って外してください。
緩めなくてレバーを握るとワンタッチナット・センター軸を損傷させる恐れがあります。

(2)モードの切り替え

MODE スイッチを押すと ①－②－③－④－⑤－① の順にモードが選択されます。

- ①  両面打込モード
- ②  イン側打込アウト側貼付モード
- ③  イン側貼付アウト側貼付モード
- ④  スタチックモード
- ⑤  ライトトラックモード

(3)データーの inch・cm について

この機種はinch・cmの表示がありませんので、下記のことにご注意ください。

-  全てのモードで **[inch]** 表示
-  全てのモードで **[inch]** 表示
-  全てのモードで **[mm]** 表示

データーの入力は  または  スイッチを押してください。

リム径とリム幅は0.5インチずつ増減します。ディスタンスは1mmずつ増減します。

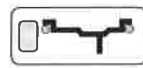
SET スイッチを押すとデーターは確定します。

(4) データの入力方法

A. 両面打込の場合

(電源投入時はこのモードになっております。)

測定モードを両面打込にしてください。



1. ディスタンスの入力

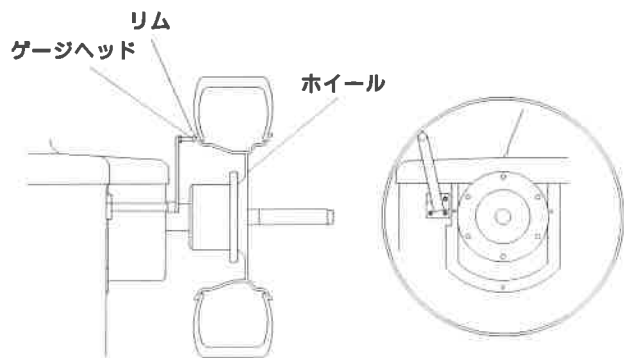
スケールのヘッドをIN側の打込み位置に当てます。

ピーという音と共にディスタンスが入力されます。

なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻してから再度入力して下さい。

(約1秒間停止しているとセットされます)

入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければIN側に【E-E】と表示してスタートしません。

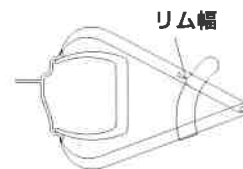


2. リム径の入力

⬆️ スイッチを押し、⊕ ⊖ スイッチを押して、リム径を設定し、SET スイッチを押して確定してください。

3. リム幅の入力

タイヤパス (リム幅ゲージ) を図のように、イン・アウト両側のリムに当て、ゲージの幅を読みとり、⊕ ⊖ スイッチを押して、例えば6.0 J の場合OUT側ディスプレイが6.0 となったら SET スイッチを押して確定して下さい。



B. アルミのイン側打込、アウト側貼付の場合

測定モードをイン側打込アウト側貼付にしてください。



1. ディスタンスの入力

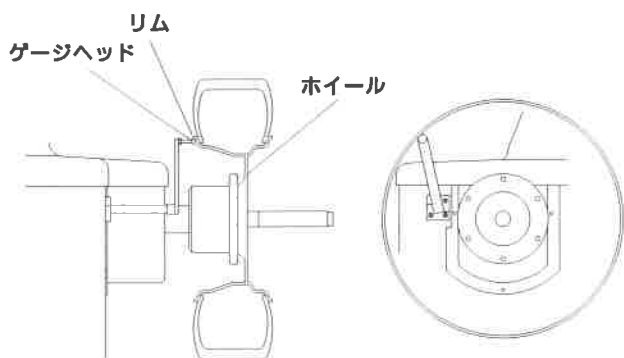
スケールのヘッドをIN側の打込み位置に当てます。

ピーという音と共にディスタンスが入力されます。

なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻してから再度入力して下さい。

(約1秒間停止しているとセットされます)

入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければIN側に【E-E】と表示してスタートしません。



2. リム径の入力

⬆️ スイッチを押し、⊕ ⊖ スイッチを押して、リム径を設定し、SET スイッチを押して確定してください。

3. リム幅の入力

3-1. フランジ面固定の場合

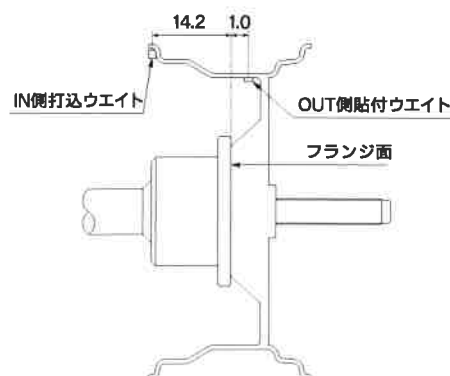
リム幅は入力しなくても結構です。OUT側の貼付位置はフランジ面の位置で固定されているので、リム幅のデータは必要ありません。

3-2. 任意設定の場合

フランジ面の位置を基準として、 スwitchを押して
 スwitchを押して、フランジ面の位置から0.5 cm
単位の増減でリム幅の設定をし、 スwitchを押します。

例) ディスタンス・リム径を入力し、リム幅が【14.2】の場合。

OUT側の貼付位置をフランジ面より1 cm奥に貼りたい場合は スwitchを押して スwitchで【15.2】
まで押し スwitchを押します。



C. アルミのイン側貼付アウト側貼付の場合

測定モードをイン側貼付アウト側貼付にしてください。

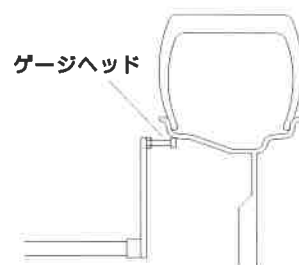


1. ディスタンスの入力

スケールのヘッドをIN側の貼付位置に当てます。
ピーという音と共にディスタンスが入力されます。
なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止
するとセットされてしまいますので、このような場合は
一度スケールを戻してから再度入力してください。

(約1秒間停止しているとセットされます)

入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければIN側に【E-E】と表示
してスタートしません。



2. リム径の入力

スwitchを押して、 スwitchを押して、リム径を設定し、 スwitchを押して
確定してください。

3. リム幅の入力

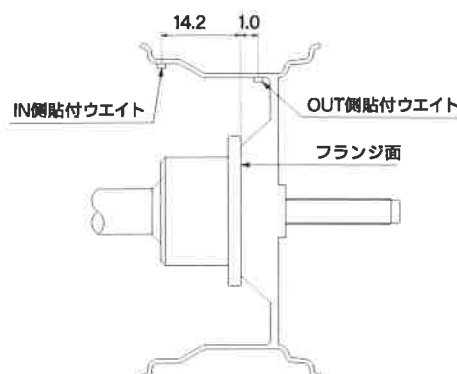
3-1. フランジ面固定の場合

リム幅は入力しなくても結構です。OUT側の貼付位置はフランジ面の位置で固定されているので、リム幅のデータは必要ありません。

3-2. 任意設定の場合

フランジ面の位置を基準として、 スwitchを押して
 スwitchを押して、フランジ面の位置から0.5 cm
単位の増減でリム幅の設定をし、 スwitchを押しま
す。

例) ディスタンス・リム径を入力し、リム幅が【14.2】の
場合。OUT側の貼付位置をフランジ面より1 cm奥
に貼りたい場合は スwitchを押して スwitchで
【15.2】まで押し スwitchを押します。



D. スタチックモード(片面取り付け)



測定モードをスタチックにしてください。
データー入力はリム径のみ入力してください。
ディスタンス・リム幅を変更しても測定結果は変化しません。

E. ライトトラックモード



測定モードをライトトラックにしてください。
データーの入力方法は両面打込を参照してください。
取り付けはL T用アダプター（オプション）を使用してください。

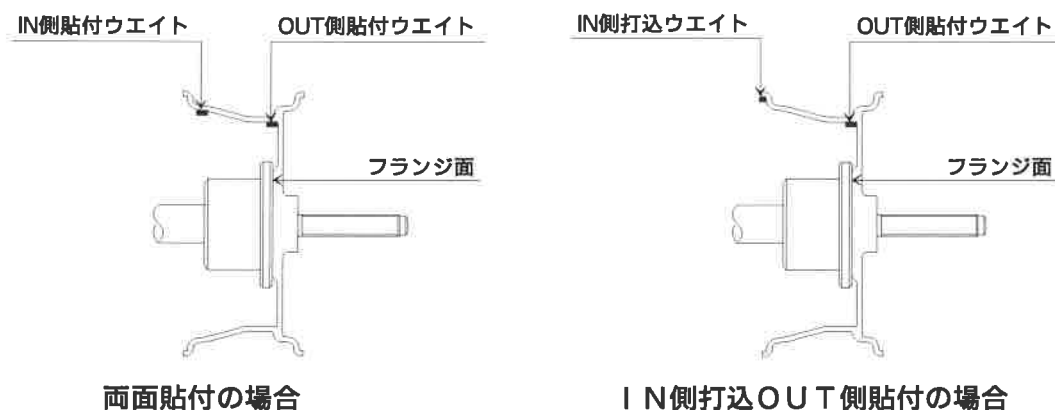
(5)測定

A. 測定手順

- ①タイヤ・ホイールを固定します。
- ②測定モードを選択します。
- ③ホイールデーターを正しく入力します。
- ④STARTスイッチを2回続けて押すと、ホイールは回転します。測定が終わるとアンバランス量が表示されて自動停止します。
- ⑤バランスを取る最初の側を選択します。位置インジケーターに従いホイールを手で回し、ウエイト取付位置にくとグラムが点滅します。
点滅位置でのホイールの真上（12時の位置）にウエイトを取り付けます。
- ⑥違う側も同様の動作を行います。
- ⑦両方のウエイトを取り付け終わったら、再度測定して000・000表示しOK表示が点滅したら終了です。

B. アルミホイールの貼付の場合のウエイト取付位置

リム幅の設定をフランジ面固定にした場合は、図のようにアウト側の貼付位置はウエイトの中心がフランジ面になる位置に取り付けて下さい。リム幅を任意で設定した場合は任意の位置に取り付けて下さい。



(6)再演算機能

ホイールデーターを間違えて入力して測定した場合、再度タイヤを回して測定しなくても再演算機能を使えば正しいグラム・位相を求める事ができます。

測定終了後、正しいホイールデーターを入力して  スイッチを押し  スイッチを押せば、正しいグラム・位相の表示になります。

(7)表示の切り替え

I N側のグラム表示とリム径表示が兼用になっています。またO U T側のグラム表示とリム幅表示が兼用になっています。

リム径またはリム幅の表示状態で  スイッチを押し  スイッチを押すとグラム表示に変わります。測定を行うと必ずグラム表示になります。

(8)ロック解除の方法

 スイッチを押すと、ロックは解除されます。

(9)FINEモード

電源を入れたときはグラム表示は5 g単位になっています。

 スイッチを押し  スイッチを押すと、1 g単位表示にかわります。

再度  スイッチを押し  スイッチを押すと、5 g単位表示になります。

6.標準付属品・オプション部品

●標準付属品

- ①コーンS・M・L・LL・3L
- ②カップ
- ③バックスプリング
- ④カラーC1・C2
- ⑤ワンタッチクイックナット
- ⑥センター軸
- ⑦タイヤパス
- ⑧ウエイトブライヤー
- ⑨アンカーボルト
- ⑩センター軸締め付けボルト（3本）
- ⑪締め付けレンチ
- ⑫取扱説明書
- ⑬保証書

●オプション部品

- ①4Lコーンセット
- ②LTアダプターセット
- ③フランジアダプターセット

7. 定期点検

(1) 定期点検

期 間	点検箇所	点検項目	点検要領
3ヶ月毎	センター軸	緩み	増し締めをする

(2) 消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・摩耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部品番号	販売単位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト 2-5M-1250		1	1 / 1 台

8. 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合の場合は、お買上の販売会社へご相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のブレーカーのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のブレーカーのヒューズのうち1本が切れている	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれども、そのホイールだけが修正出来ない	タイヤの中に異物、水などが入っている	異物、水などを取り除く
【E-E】と表示する	スケールが出ている	スケールを最後まで戻す

その他の症状について

(1) バランス修正ミス

(イン・アウトの修正位置が逆になっている。修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が大きい場合(50gを越えるような場合)

若干の測定誤差とウエイト量の誤差、及びウエイトの取り付け位置のそれによって、1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

(1) 自己校正

- 自己校正はバランス修正が日常の使用でタイヤ・ホイールバランスが良好でない時に実施してください。
- 自己校正は一般的なスチールホイール（13～15インチ）程度を使用してください。
参考：正確な修正結果を得るためには、アンバランスの少ないホイールが必要です。
（最大40g）

操作手順

- ①13～15インチ程度のホイールを balanサーに取り付けてください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム径入力スイッチ（)を押して下さい。IN側表示が【Pー1】となります。
- ④通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力して下さい。
- ⑤スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【100】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50gウエイト2個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- ⑥回転が止まったらOUT側表示に【100】と表示されます。IN側の50gウエイト2個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50gウエイト2個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
回転が止まったら自己校正は完了です。
（操作が間違っていなければ balanサーの精度は正確に校正されます。）



注 意

OUT側に100gを取り付ける時は正確に取り付けてください。

(2) 軸アンバランス校正

- ホイールなど何も付けずに balanサーを回転させて測定したときにアンバランスが表示される時は取付け誤差の原因となりますので次の方法で修正してください。

操作手順

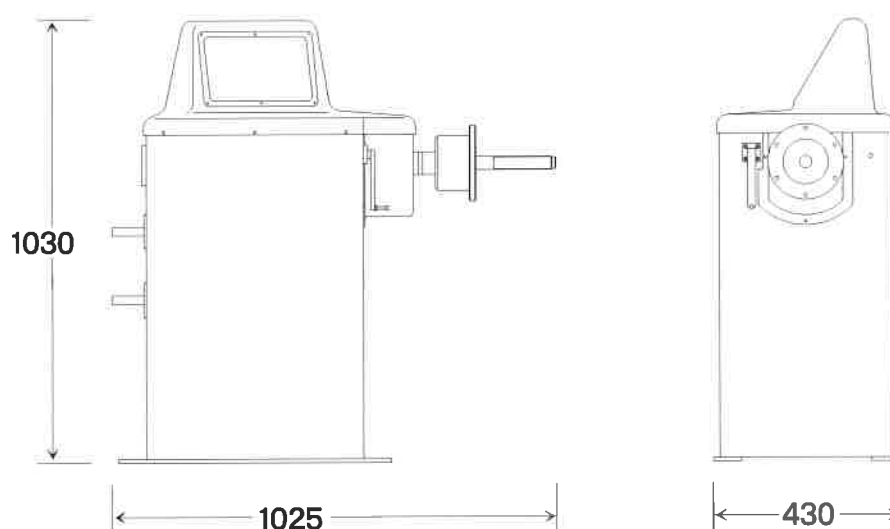
- ①balanサーにはホイール・タイヤなど、何も取り付けずにください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー】とでたらスタートスイッチを離してください。
- ③リム幅入力スイッチ（)を押してください。IN側表示が【Pー2】となり、OUT側表示が【001】と表示されます。
- ④スタートスイッチを押して回転させてください。
- ⑤回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑥再度スタートスイッチを押して回転させてください。回転が停止したら軸アンバランス校正は完了です。

9. 仕様・本体寸法

型 式	DX-B20	
電 源	3相 200V	単相 100V
モ ー タ ー	0.4kW4P	0.4kW4P
測 定 回 転 数	約260rpm (50Hz) 約300rpm (60Hz)	約270rpm (50Hz) 約330rpm (60Hz)
測 定 方 式	ハードタイプ両面同時測定	
適 応 リ ム 径	10" ~24"	
適 応 リ ム 幅	2" ~15"	
最 大 測 定 重 量	75kg	
最 大 タ イ ヤ 外 径	900mm	
測 定 範 囲 g	0~500g	
本 体 重 量	約110kg	

※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

本体寸法



10. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後1年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証はいたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合etc）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

このホイールバランスは屋外設置及び防水仕様にはなっておりませんので、
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。
必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますのでお買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせください。 型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社名 担当者
	住所 電 話
設 置 業 者	社名 担当者
	住所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 ホイール balans ー

型 式 **DYNAMAX B20**

初 版 発 行 月 日	平 成 2 3 年 2 月 1 日
-------------	---------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-------------------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124(代)

営業所／札幌	☎(011)791-8588	名古屋	☎(052)354-1021
仙台	☎(022)255-7408	大阪	☎(06)6701-7315
秋田	☎(018)800-2556	福井	☎(0778)21-0335
東京	☎(03)5970-6011	広島	☎(082)943-8455
新潟	☎(025)281-8251	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。